【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】令和6年6月27日(2024.6.27)

【国際公開番号】WO2023/162058
【出願番号】特願2024-502307(P2024-502307)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｃ 18/02(2006.01)
Ｆ０４Ｃ 29/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｃ 18/02 ３１１Ｑ
Ｆ０４Ｃ 29/12 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月4日(2024.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本開示に係るスクロール圧縮機は、外郭を構成する密閉容器と、冷媒を前記密閉容器の内部の第１吸入空間に流入させる吸入管と、前記密閉容器内に設けられ、固定台板と該固定台板の一面に設けられた渦巻状突起である固定渦巻部とを有する固定スクロールと、揺動台板と該揺動台板の一面に設けられた渦巻状突起である揺動渦巻部とを有する揺動スクロールと、を有し、前記固定渦巻部と前記揺動渦巻部とが噛み合うことにより、冷媒を圧縮する圧縮室と、前記第１吸入空間に流入した冷媒を前記圧縮室へ導く吸入室と、が形成される圧縮機構と、前記密閉容器の内周壁に固定され、前記固定スクロールを固定配置するフレームと、を備え、前記フレームには、前記密閉容器の前記内周壁と前記固定渦巻部および前記揺動渦巻部の外周部とで囲まれた第２吸入空間と、前記第１吸入空間とを連通させる吸入孔が形成されており、前記揺動台板には、前記揺動スクロールが揺動しているときに前記吸入孔と前記吸入室とを間欠的に連通させる吸入流路が形成されており、前記揺動台板の背面の外周部の少なくとも一部が周方向に沿って内側に凹んだ補助吸入流路が形成されており、前記補助吸入流路は、前記吸入孔および前記吸入流路と連通しているものである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
外郭を構成する密閉容器と、
冷媒を前記密閉容器の内部の第１吸入空間に流入させる吸入管と、
前記密閉容器内に設けられ、固定台板と該固定台板の一面に設けられた渦巻状突起である固定渦巻部とを有する固定スクロールと、揺動台板と該揺動台板の一面に設けられた渦巻状突起である揺動渦巻部とを有する揺動スクロールと、を有し、前記固定渦巻部と前記揺動渦巻部とが噛み合うことにより、冷媒を圧縮する圧縮室と、前記第１吸入空間に流入した冷媒を前記圧縮室へ導く吸入室と、が形成される圧縮機構と、
前記密閉容器の内周壁に固定され、前記固定スクロールを固定配置するフレームと、を

備え、
前記フレームには、前記密閉容器の前記内周壁と前記固定渦巻部および前記揺動渦巻部の外周部とで囲まれた第２吸入空間と、前記第１吸入空間とを連通させる吸入孔が形成されており、
前記揺動台板には、前記揺動スクロールが揺動しているときに前記吸入孔と前記吸入室とを間欠的に連通させる吸入流路が形成されており、
前記揺動台板の背面の外周部の少なくとも一部が周方向に沿って内側に凹んだ補助吸入流路が形成されており、
前記補助吸入流路は、
前記吸入孔および前記吸入流路と連通している
スクロール圧縮機。
【請求項２】
前記吸入流路は、
前記揺動台板に形成された貫通孔あるいは切り欠きである
請求項１に記載のスクロール圧縮機。